



# SDGs 推進プロジェクト『あゆみ』

～地域のために 未来のために～



SDGs推進プロジェクト

あゆみ



2020年3月期

筑波銀行

Tsukuba Bank

## ～ 地域のために 未来のために ～

- ・ 筑波銀行は、東日本大震災以降、地域復興・地域振興支援プロジェクト『あゆみ』の活動を通し、地域経済や地域社会の面的な復興および振興に取り組んでまいりました。
- ・ コーポレートスローガン『地域のために 未来のために』の実現に向け、国連が定めた「持続可能な開発目標SDGs」の趣旨に賛同、「筑波銀行SDGs宣言」を2019年4月に制定いたしました。
- ・ SDGs宣言の実現に向け、地域振興支援プロジェクト『あゆみ』をSDGs推進プロジェクト『あゆみ』にリニューアルし、社会的課題の解決を通じ、持続的成長を目指します。



# 目次

## 筑波銀行SDGs 宣言

SDGs推進プロジェクト『あゆみ』概要…………… P. 3

SDGs推進プロジェクト『あゆみ』メニュー ……………P. 4

## 1. 地域経済の持続的な発展に向けて

- 1.1 ローカル・イノベーション……………P. 6
- 1.2 ローカル・ブランディング……………P. 7-8
- 1.3 ライフステージに応じた  
トータルソリューションの提供……………P. 9-10

## 2. 持続可能な地球環境の実現に向けて

- 2.1 再生可能エネルギー利用に向けた取り組み……………P. 12
- 2.2 環境保全活動への協力……………P. 13
- 2.3 事業活動に伴う環境負荷低減の推進……………P. 14
- 2.4 ESG投資・金融……………P. 15-16

## 3. 地域に暮らす人々の豊かな社会の実現に向けて

- 3.1 次世代育成……………P. 18
- 3.2 スポーツ・文化事業への協力……………P. 19-20
- 3.4 ダイバーシティへの対応……………P. 21
- 3.5 住み続けられるまちづくりに向けた取り組み…P. 22

## 4. 責任ある事業の推進に向けて

- 4.1 コンプライアンスの徹底
- 4.2 持続的成長に向けたガバナンス体制……………P. 24

## SDGs 推進プロジェクト『あゆみ』の

2020年度の推進について……………P. 25



SDGs推進プロジェクト

あゆみ

# 筑波銀行SDGs宣言

## ① 地域経済の持続的な発展に向けて

- ・私たちは、保有する多様なネットワーク、金融仲介機能を発揮して、お客さまや地域の課題の解決を通じて、地域経済の持続的な発展に貢献します。

## ② 持続可能な地球環境の実現に向けて

- ・私たちは、環境にやさしい事業運営や再生可能エネルギー利用の促進等の活動を通じて、持続可能な地球環境の実現に貢献します。

## ③ 地域に暮らす人々の豊かな社会の実現に向けて

- ・私たちは、地域社会における課題や要請に耳を傾け、事業活動を通じてその解決を支援し、豊かな地域社会の実現に貢献します。

## ④ 責任ある事業の推進に向けて

- ・私たちは、コンプライアンスの徹底やガバナンス体制の整備を進め、持続可能な責任ある事業の推進体制の整備を進めます。

# SDGs推進プロジェクト『あゆみ』概要

## ① 名称

SDGs推進プロジェクト『あゆみ』  
～地域のために 未来のために～

## ② 計画期間

2019年4月 ～ 2022年3月（3年間）

## ③ 基本方針

- ・2019年4月、コーポレートスローガン「地域のために未来のために」の実現に向け、国連が定めた「持続可能な開発目標 SDGs」の趣旨に賛同し、「筑波銀行SDGs宣言」を制定しました。
- ・SDGsの目指す「持続的で多様性と包摂性のある社会」の実現に向け、地域振興支援プロジェクト『あゆみ』をSDGs推進プロジェクト『あゆみ』にリニューアルし、社会的課題の解決のための施策を展開し、当行を含む地域社会の持続的成長を目指してまいります。

# SDGs推進プロジェクト『あゆみ』メニュー

## ※持続可能な開発目標 SDGsとは

- 「持続可能な開発目標：Sustainable Development Goals」の略で、「エス・ディー・ジーズ」と呼びます。2015年9月「誰一人取り残さない（Leave no one behind）」をキーワードに持続可能で多様性と包摂性のある社会実現のため、国際連合において全会一致で採択された国際社会で取り組むべき目標です。
- 貧困、飢餓、教育などのほか、気候変動、働きがいや経済成長など17分野の目標とそれを達成するための169項目のターゲットで構成されています。

### SDGs17分野の目標



筑波銀行SDGs宣言 ～地域のために 未来のために～

社会的課題の解決

持続的成長

地域の抱える社会的課題の解決を通じ、地域とともに成長する持続的成長モデルの構築

・地域金融機関として事業性評価に基づく共通価値の創造 / ・地方創生等の取り組みの推進

地域の社会課題とSDGsの17の目標を紐付し、「経済」、「環境」、「社会」

「ガバナンス」の4分野の切り口に分け、課題の重要性を地域の持続的な発



# 1. 地域経済の持続的な発展に向けて

私たちは、保有する多様なネットワーク、金融仲介機能を発揮して、お客さまや地域の課題の解決を通じて、地域経済の持続的な発展に貢献します。

- 1.1 ローカル・イノベーション ※1
- 1.2 ローカル・ブランディング ※2
- 1.3 ライフステージに応じたトータルソリューションの提供

※1 ローカル・イノベーション…地域を支えることが期待されるベンチャー企業などの創業支援を行います。

※2 ローカル・ブランディング…「地域発の商品・サービスのブランド化」と「地域イメージのブランド化」を結び付け、好循環を生み出し、地域外からの人・資金を呼び込み、地域経済の発展を図ることを言います。

8 働きがいも  
経済成長も



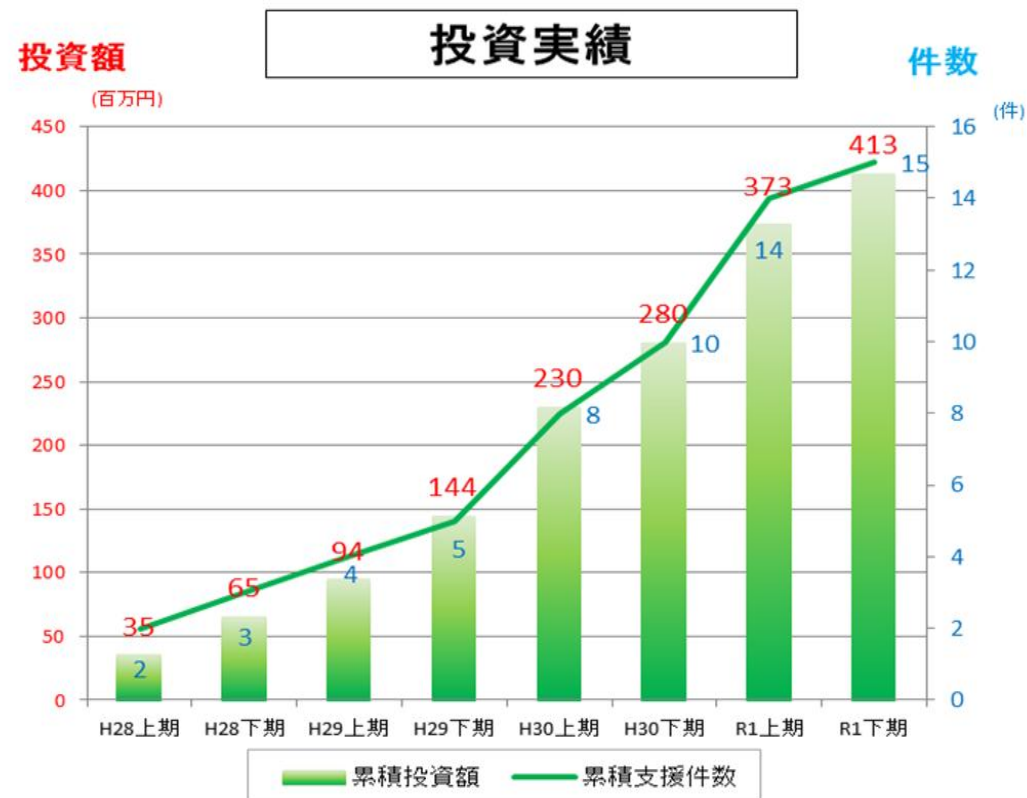
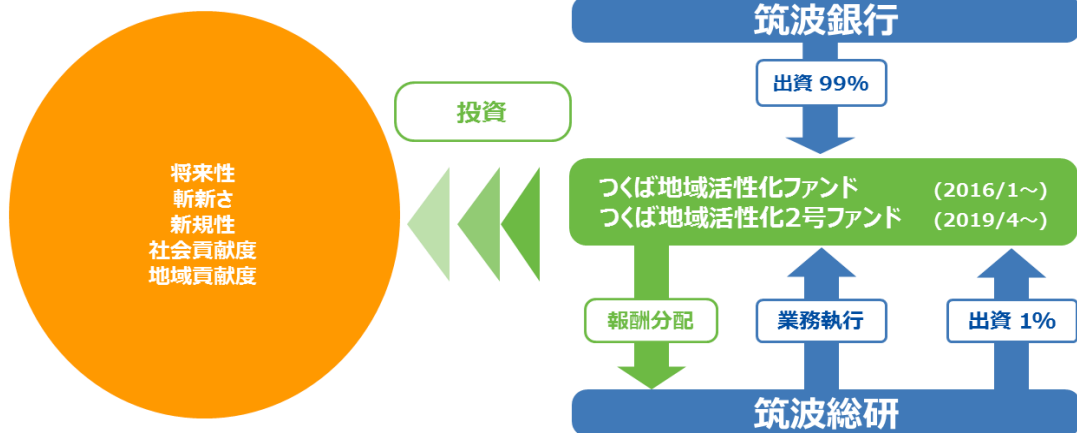
9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



# ローカル・イノベーション ～ベンチャー企業育成支援への取り組み～

## 新産業育成に向けたベンチャー企業育成支援の取り組み強化

- 『つくば地域活性化ファンド』による起業家支援
- ベンチャー支援を通じての地域経済の活性化を目的として自前の投資ファンドを設立し、エクイティ投資によりそれまででは対応できなかった技術系ベンチャーの創業支援にも積極的に取り組んでいます。



## ローカル・ブランディング ～行政と連携した地域商社事業への支援～

### ① 地域活性化DMO推進事業への協力

- ・ 当行はかすみがうら市と連携し、地域活性化DMO『かすみがうら未来づくりカンパニー』の設立に協力しています。かすみがうら市の地方創生を加速させる組織として、サイクリング事業を核とし、地域商社機能を含めた様々な事業を展開し、かすみがうら市の地域ブランディングに貢献しています。
- ・ また地域に眠る貴重な資産である古民家を地域拠点として多様な活用方法を構築するため、茨城県ブランド向上事業における古民家改修第1号物件として、当DMOが参画しております。今後古民家を改修し、宿泊施設として活用するだけでなく、交流センター、水族館、歴史博物館を含め周辺観光施設との連携を含め、地域ブランド力の向上に寄与しています。

|       |  |
|-------|--|
| 会社名   | 株式会社かすみがうら未来づくりカンパニー   |
| 法人設立日 | 平成28年4月28日   |
| 出資者   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 株式会社ステッチ</li> <li>・ つくば地域活性化ファンド（筑波銀行）</li> <li>・ かすみがうら市</li> </ul>  |
| 事業内容  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サイクリングプログラムの企画運営事業</li> <li>・ マルシェ運営事業、地域産品を用いた6次産業化事業</li> <li>・ 他地域イベントの企画運営事業</li> <li>・ 地域産品を活用したレストラン運営事業</li> <li>・ 古民家を利用した宿泊事業</li> </ul> |



未来づくりカンパニー



古民家活用事業



## ローカル・ブランディング ～地域資源ブランディングへの取り組み～

### ② 地域資源のブランディング化支援の取り組み強化

〔行政と連携した地域の優れた産品選定支援〕

- ・ 当行と連携協定を締結している桜川市が、観光の振興や地域産業の発展を目的に、同市の市産品の中から、特に優れたものを、市の推奨品「さくら川百貨」として選定することになりました。選定にあたり『さくら川百貨選定審査委員会』を設立し、当行役員が委員長に、関係先が委員に就任しています。
- ・ 2018年12月に第1回審査委員会を開催し、以降厳選なる選定を実施しました。2019年3月、2020年3月にそれぞれ『さくら川百貨』選定品カタログを2回発行しており、地域ブランディングに貢献しています。



# ライフステージに応じたトータルソリューションの提供

## ～企業の成長ステージに応じたサポート～

### ① 企業のライフステージに応じたサポート

- ・企業の成長ステージに応じて、必要なサポートを行って企業の成長のお手伝いをします。  
創業期であればファンド等による資金供給等や、成長・成熟ステージでは販路の支援等、再生ステージでは事業承継等の支援を行います。



# ライフステージに応じたトータルソリューションの提供

～販路開拓支援への取り組み～

## ② 2019筑波銀行ビジネス交流商談会

- 「2019筑波銀行ビジネス交流商談会」では、北関東3県の企業や自治体が出展し、販路開拓や業種を超えた連携・交流の促進が図られました。



交流商談会場



個別商談会場



出店ブース

|      |   |
|------|---|
| 開催日時 | 2019年10月9日（水）<br>・ 交流商談会 / 13：00～17：00<br>・ 個別商談会 / 11：00～17：00 |
| 会場   | つくば国際会議場  |
| 主催   | 当行  |
| 共催   | 茨城県信用保証協会、(株)東和銀行、(株)栃木銀行、筑波総研(株)                               |

|       |        |
|-------|--------|
| 参加企業数 | 488社   |
| 来場者数  | 2,000名 |
| 商談数   | 900件   |

## 2. 持続可能な地球環境の実現に向けて

私たちは、環境にやさしい事業運営や再生可能エネルギー利用の促進等の活動を通じて、持続可能な地球環境の実現に貢献します。

- 2.1 再生可能エネルギー利用に向けた取り組み
- 2.2 環境保全活動への協力
- 2.3 事業活動に伴う環境負荷低減の推進
- 2.4 ESG投資・金融

世界ではさまざまな自然災害が増えており、その原因のひとつには地球温暖化が関係していると言われています。

地球温暖化は二酸化炭素の増加が主な原因です。再生可能エネルギーへの積極的なサポート、環境保全活動、環境負荷低減に向けて取り組んでいます。

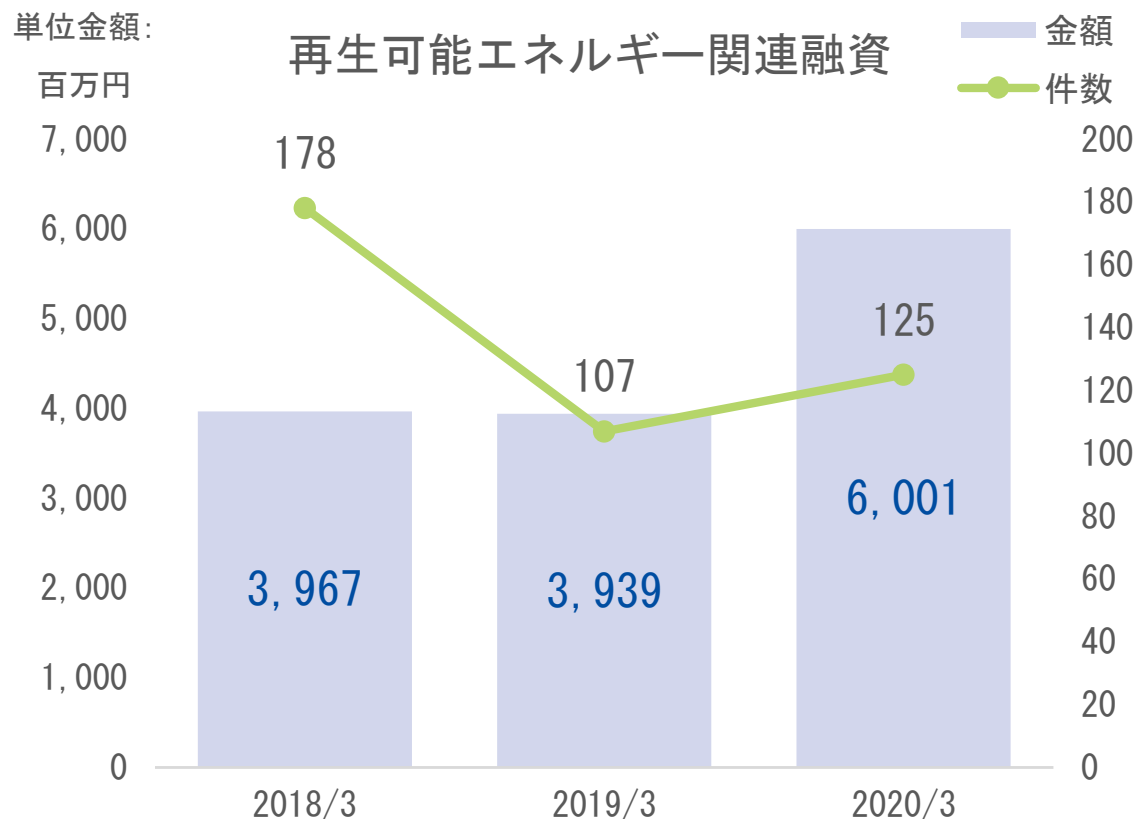


## 再生可能エネルギー利用に向けた取り組み

～環境事業への積極的なサポート～

### 再生可能エネルギー事業へのファイナンスの取り組み強化

- ・環境にやさしい再生可能エネルギー施設等、環境事業への積極的なサポートに取り組んでいます。太陽光発電設備資金、風力発電設備資金などの環境関連融資の推進を通じて、環境に配慮するお取引先の取り組みを支援しています。



※再生エネルギーに支援するため、シンジケートローンを通して秋田県の風力発電事業に取り組んでいます。

## 環境保全活動への協力

## ～ボランティアを通して環境保全への取り組み～

### ① 環境保全への取り組み

- ・霞ヶ浦流域の環境保全及び水質浄化を目的とした河川敷のごみ回収活動に、筑波銀行ボランティアクラブから、毎年（年2回）約200名が参加し環境保全活動に取り組んでいます。



霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦：清掃活動

### ② 森林保全への取り組み

- ・美しい健全な森林を次世代へ引き継いでいくために「筑波銀行あゆみの森」六斗において毎年、新入行員による記念植樹や下草刈りを実施するなど、森林保全活動に取り組んでいます。



新入行員による記念植樹

≪「筑波銀行あゆみの森」つくば市≫

取り組み実績  
〔累計植樹本数〕

約500本  
(2012～2019年)

## 事業活動に伴う環境負荷低減の推進

### ～CO2削減・紙資源削減への取り組み～

#### ① 行用車削減等の取り組み

- ・行用車の計画的な削減により、気候変動の要因とされるCO2削減につながりました。
- ・エコドライブ（急発進・急加速・空ふかし・不要な荷物の積載等の防止）を実践しています。
- ・ガソリンを1年間で約3万3千リットル減量したことにより、CO2を年間7.7t削減に貢献しています。

車両削減台数

130台

ガソリン削減量

33,775ℓ

CO2削減量

7.7t

#### ② タブレット使用によるペーパーレスへの取り組み

- ・紙資源削減のため、銀行内部の会議においてペーパーレス化を推進しました。また新営業端末導入や伝票レス・オペレーションレスのスマートブランチを導入しました。



タブレット活用の様子

#### ③ Web通帳化によるペーパーレスの推進

- ・紙資源の使用削減を目指して、Web通帳を推進しました。



紙の削減につながるから環境にやさしい!

通帳記帳や繰越などの手続きが不要!

お通帳の紛失・盗難等の心配が不要!



つくば Web通帳



Web通帳の案内

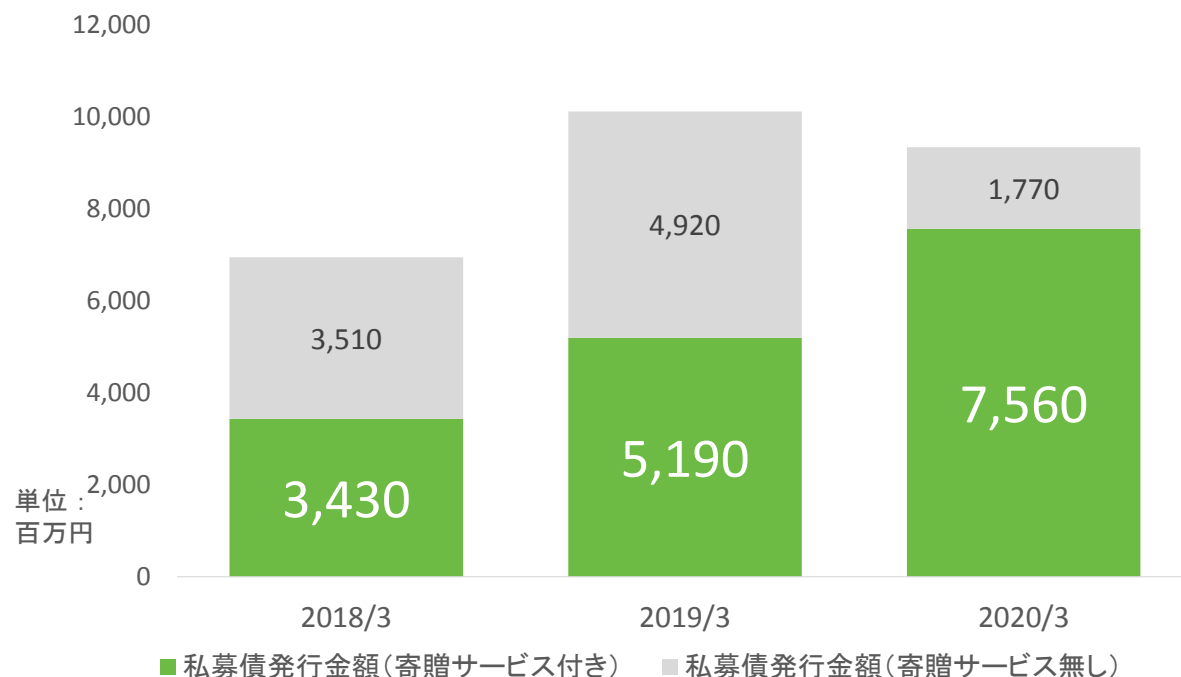


## ① 寄贈サービス付SDGs私募債『地域の未来応援債』の取り組み

- ・ 当行が、私募債発行企業から受け取る発行手数料の一部を地域の学校や地方公共団体に寄付または寄贈するサービスが付いた私募債です。
- ・ 当行は、持続可能な地域社会の実現のため、地域のお客さまとともに、地域の未来を応援するため取り組みを進めています。



私募債取組実績 寄付サービス付SDGs私募債『地域の未来応援債』



## これまでの寄贈品の一例

- 砂遊びセット
- 図書
- 三輪車
- スポーツ用品
- プロジェクター
- I Pad
- カメラ

※贈呈先のご要望に応じ寄贈しています。



## ② 「CBIプログラム認証付きサステナビリティボンド」への投資

- ・国連の持続可能な開発目標（SDGs）を達成するため、ESG投資・金融の推進を通じて、地域社会の持続的な発展に向けて貢献しています。
- ・ESG投資として、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が発行するCBI認証付きサステナビリティボンド（以下「本債券」）への投資を行っています。

- ・「サステナビリティボンド」とは、調達資金の使途が

- ①環境改善効果があること（グリーン性）
  - ②社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）
- の①・②双方を有する債券です。

- ・本債券は、複数の国際基準（※1）に適合している旨、国際的な第三者評価機関であるDNV GLによる検証と、厳格な国際基準を設けるClimate Bonds Initiative（CBI:低炭素経済に向けた大規模投資を促進する国際NGO）からのプログラム認証（一度の認証で継続的な債券発行が可能となる制度）をアジアで初めて取得しています。

## ※1

- ・気候ボンド標準2.1版、低炭素交通基準（CBI）、グリーンボンド原則・ソーシャルボンド原則・サステナビリティボンドガイドライン（2018年国際資本市場協会 ICMA）等

|      |  |
|------|--|
| 銘柄   | 第135回<br>鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券<br>(CBI認証付きサステナビリティボンド) |
| 年限   | 10年  |
| 発行総額 | 90億円   |
| 利率   | 0.11%  |

# 3. 地域に暮らす人々の豊かな社会の実現に向けて

私たちは、地域社会における課題や要請に耳を傾け、事業活動を通じてその解決を支援し、豊かな地域社会の実現に貢献します。

- 3.1 次世代育成
- 3.2 スポーツ・文化事業への協力
- 3.3 ダイバーシティへの対応
- 3.4 住み続けられるまちづくりに向けた取り組み

地域社会が持続していくためには、そこに住むすべての人々が、豊かに暮らしていくことが重要です。金融教育、経営人材の育成やスポーツ・文化事業への協力、ダイバーシティ※1に対して積極的に取り組んでいます。

また住み続けられるまちづくりに向けた取り組みとして、自治体と連携して観光資源の発掘にも協力しています。

※1ダイバーシティ…性別、人種、国籍、宗教等の多様性を活かしていく取り組み



## 次世代育成

## ～金融教育・経営人材の育成支援への取り組み～

### ① 全国高校生金融経済クイズ選手権 「エコノミクス甲子園」 茨城大会の開催

- ・ 当行は、高校生が楽しみながら金融経済に興味を持ち、将来社会人として必要な経済知識を学ぶきっかけを提供するため、「エコノミクス甲子園」茨城大会を開催しています。
- ・ 「エコノミクス甲子園」茨城大会は、平成24年より毎年開催しており、県内から多くの高校生が集結し、金融経済知識を競い合っています。
- ・ 茨城大会の優勝者は全国大会に出場し、更に全国大会の優勝者にはニューヨーク研修旅行が贈呈されます。



エコノミクス甲子園に参加した高校生の皆さん

### ② 筑波ふれあい倶楽部『次世代経営塾』を開催

- ・ 地域に暮らす人々の豊かな社会の実現に向け、経営人材の育成支援を実施することを目的として『筑波ふれあい倶楽部次世代経営塾』を開催しています。
- ・ 若手経営者・後継者を対象に、経営者の必要なスキルだけでなく、グループワーク等を交えながら、「経営の実力」を習得するとともに、異業種の後継者との人脈形成やネットワーク構築につながり、次世代育成に寄与しています。



次世代経営塾「第7期生」の皆さん

## スポーツ・文化事業への協力 ～スポーツ事業への支援～

### ① 筑波銀行「あゆみ」杯茨城県学童軟式野球大会の実施

- ・ 当行が進めているSDGs推進プロジェクト『あゆみ』の一環として、スポーツ振興を通じ、未来を担う青少年の健全育成と豊かな地域社会づくりに協力したく、2012年（H24年度）より毎年開催しています。

#### ※大会概要

##### 〔開催日〕

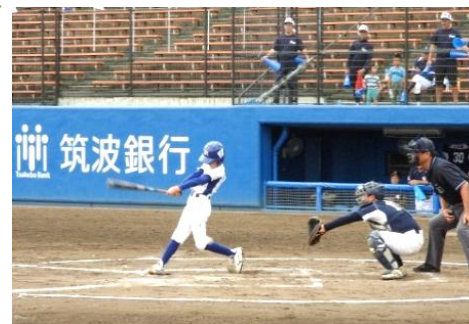
2019年9月7日（土）8（日）21（土）の3日間

##### 〔開催会場〕

ノーブルホームスタジアム水戸（水戸市民球場）他

##### 〔出場チーム〕

茨城県軟式野球連盟支部代表22チーム及び  
前年度優勝チーム、開催地枠1チームの24チーム



決勝戦の様子



優勝：古河スターファイターズ

### ② つくばマラソン大会への協力

- ・ 当行は筑波銀行ボランティアクラブより毎年約50名が参加。スポーツ振興を通じ、地域交流、健康増進など豊かな地域社会づくりに協力しています。また、2015年度（H27年度）より、特別協賛企業としても協力しています。



表彰式の様子



筑波銀行ボランティアクラブ（給水場）

## スポーツ・文化事業への協力 ～芸術文化振興に向けた取り組み～

### ③ ギャラリー企画展の開催・ギャラリーの貸出し

- ・ 当行は地域の文化芸術振興に寄与することを目的に、地域の皆さまの作品を展示する場として、つくば本部ビル（つくば市竹園）2階ギャラリーを開設しています。地域で活動している個人や団体、趣味のグループへ無料の貸出しを行っています。また、定期的に「企画展」も開催しています。



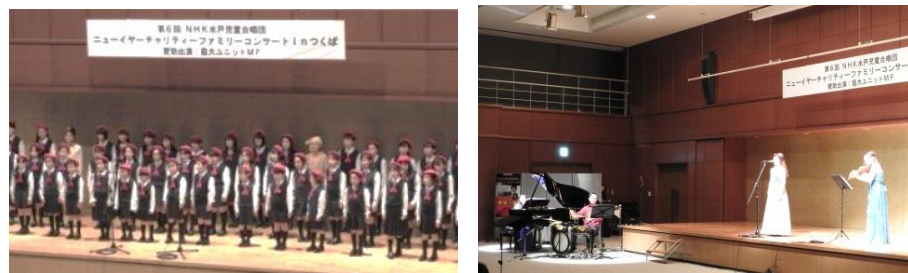
「筑波銀行企画展」の開催

取り組み実績  
延べ来館者数

約38,000人  
(2016～2019年度)

### ④ NHK水戸児童合唱団、藝大ユニットMFによるチャリティーコンサートの開催

- ・ 2014年度（H26年度）より、SDGs推進プロジェクト『あゆみ』の一環として、芸術文化を振興するため、NHK水戸児童合唱団（主催）当行（共催）によるチャリティーコンサートを毎年開催しています。



NHK合唱団、藝大ユニットMによるコンサート

取り組み実績  
延べ来館者数

約1,500名  
(2014～2019年度)

## ダイバーシティへの対応 ～女性が活躍できる職場環境の確立～

### ① 女性行員事務改革ワーキング

- ・女性目線による協議・検討から生まれた提案を積極的に採用し、銀行全体の発展・改善につなげる取り組みをしています。

### ② 子育てママミーティング・復職支援セミナーの開催

- ・育休中や職場復帰したママ行員の情報共有の場として定期的を開催しています。子育て中の悩みや、ママと子どもの健康面、保育園の手続きについての情報交換を積極的に実施しています。

### ③ 「チュリップ」による臨店活動

- ・女性で構成されたマナー向上推進チーム『チュリップ』が、営業店を臨店し、マナー改善を指導しています。

### ④ 女性活躍応援プラン

- ・「女性が活躍する職場」を目指し、「働きやすい職場」「働きがいのある職場」を実現するプランを推進しています。育児・介護の両立支援やキャリアアップ支援の具体的な施策で女性の活躍を積極的にサポートする環境を整備しています。



子育てママミーティングの様子



『チュリップ』による活動

女性役席者比率

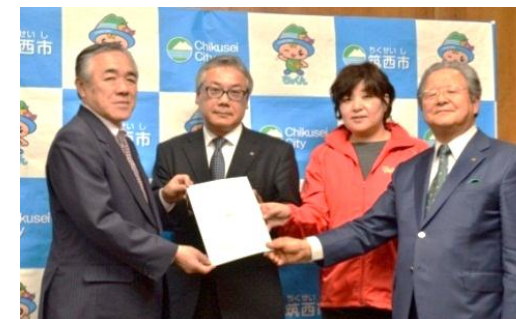
13.6%

## 住み続けられるまちづくりに向けた取り組み

### ～自治体等外部機関と連携した取り組み事例～

#### 自治体と連携して観光資源の発掘への協力

- ・2016年9月より「筑西市観光振興推進協議会」に参画しています。筑西市の既存観光資源の洗練と新たな観光資源の発掘に向けた調査・検討を行い、観光客誘致の新たな取り組みに協力しています。
- ・2018年8月より「北茨城市観光推進協議会」に参画しています。観光資源、芸術・文化・食などの地域資源、広域観光やインバウンド対策等の新たな観光資源の調査や発掘を行い、観光振興のための観光戦略・アクションプランの策定に協力しています。
- ・その他かすみがうら市、常陸大宮市等と連携し、観光資源の調査・発掘のための協議会に参画しています。
- ・JTBとの連携により、地域の情報を発信する「るるぶ特別編集」の発行にも協力しています。



「筑西市観光推進のためのアクションプラン」  
市長への報告会



北茨城市観光推進協議会



## 4. 責任ある事業の推進に向けて

私たちは、コンプライアンスの徹底やガバナンス体制の整備を進め、持続可能な責任ある事業の推進体制の整備を進めます。

### 4.1 コンプライアンスの徹底

### 4.2 持続的成長に向けたガバナンス体制

地域金融機関として、お客様から信頼され、なくてはならない銀行となるためにはコンプライアンスの徹底は最重要課題ととらえています。また持続的な成長・企業価値の向上を目指してガバナンス体制を引き続き強化していきます。





## コンプライアンスの徹底

### コンプライアンス態勢の強化

- ・ 当行にとってお客さまとの「信頼」「信用」が最大の財産であるとの認識のもと、コンプライアンスを経営の最重要課題ととらえ、頭取を委員長とするコンプライアンス委員会を設置し、取締役会が決定するコンプライアンス・プログラムにより全役職員に対してコンプライアンス研修等を実施しています。
- ・ コンプライアンス基本方針や行動規範、遵守すべき法令等と留意点をまとめたコンプライアンス・マニュアルをパートタイマーを含む全役職員に配付し、コンプライアンスの周知徹底に努めています。

## 持続的成長に向けたガバナンス体制

### コーポレート・ガバナンスの状況

- ・ 当行は、「地域の皆様の信頼をもとに、存在感のある銀行を目指し、豊かな社会づくりに貢献します。」を基本理念に、持続的な成長及び中長期的な企業価値の向上を図る観点から、コーポレート・ガバナンスの充実を重要な課題と認識し、取締役会及び監査役会を設置し、取締役の職務について厳正な監視を行う体制としています。
- ・ 取締役会の下位機関として常務会を設置し、取締役会に付議すべき事項の審議や常務会に委任された事項についての決定を行うとともに、執行役員制度の導入により経営の意思決定の迅速化と施策の適切な執行を促進する体制を整備しています。

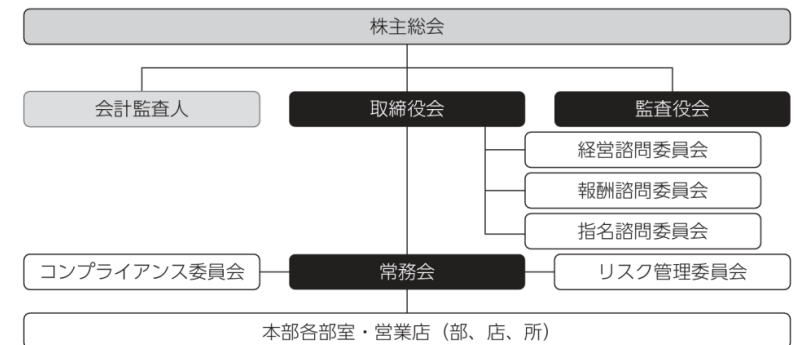
## ～お客様に信頼される態勢の構築～

### お客様に信頼される態勢の構築

### コンプライアンスの態勢の強化

## ～持続的な成長・企業価値の向上を目指して～

### ◆ コーポレート・ガバナンスの概要



# SDGs推進プロジェクト『あゆみ』の2020年度の推進について

## 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて

## SDGs推進プロジェクト『あゆみ』メニュー

筑波銀行SDGs宣言 ～地域のために 未来のために～

社会的課題の解決

持続的成長

地域の抱える社会的課題の解決を通じ、地域とともに成長する持続的成長モデルの構築

・地域金融機関として事業性評価に基づく共通価値の創造 / ・地方創生等の取り組みの推進



新型コロナウイルス感染症の影響に対しては地域金融機関として取り組まなければならないと考えます。

2020年度のSDGs推進プロジェクト『あゆみ』において、当行として新型コロナウイルス感染症への取り組みを積極的に対応し、地域金融機関として「とことん支援する」という考えを持って行動していきます。

## 2020年度SDGs推進プロジェクト『あゆみ』メニュー

### 5

### 新型コロナウイルス感染症への対応

- ①ベンチャー企業への支援体制の強化（資金繰り支援含む）  
銀行融資によるファイナンス支援取り組み、及び販路・人材・事業開発取り組みをしていきます。
- ②医療介護への支援体制の強化（資金繰り支援を含む）  
寄贈サービス付SDGs私募債の寄贈先に医療関連を追加していきます。  
資金繰り支援の強化していきます。
- ③新型コロナウイルス収束を見据えた観光振興策を積極的に提案していきます。
- ④販路支援の強化…新型コロナウイルスの影響を考慮した販路支援を（マッチングの強化）していきます。
- ⑤新型コロナウイルスの影響に対応すべく資金繰り支援の強化…新型コロナウイルス対策融資、休日相談窓口の対応を積極的に対応していきます。
- ⑥新型コロナウイルスの影響に対応すべく新規融資以外での対応…リファイナンスを含めた簡便かつ迅速な対応を実施していきます。



筑波銀行